

MC：本日午後5時台は集まれファーストペンギン ニュービジネス・ザ・ネクストステップをお送りいたします。この番組は、大村市産業支援センターセンター長宮本美沙様とゲスト様と集まり、企業経営について語り合う時間をお届けいたします。ファーストペンギンのように、最初の一步を踏み出すゲスト様のお話をお聞きしながら、リスナーの皆様へ一步を踏み出す勇気をお送りしていきます。集まれファーストペンギン ニュービジネス・ザ・ネクストステップ。この番組は、大村市産業支援センターの提供でお送りいたします。

では改めまして、本日のゲスト様は、BALLOON SHOP HAMAZATO の濱里亜季子様にお越しいただきました。

では本日は、よろしく願いいたします。

濱里：よろしく願いします。

MC：はい、寒い中ありがとうございます。以前ですね、ターンマークにもお越しいただいて嬉しいです、ありがとうございます。では早速ですが、ご存知の方も多いと思うんですが濱里様、自己紹介をお願いしてもよろしいですか。

濱里：はい。大村市池田でバルーンショップをしております、BALLOON SHOP HAMAZATO の濱里と申します。

MC：これまでの事業についてもお聞きしてもよろしいですか？

濱里：はい。これまでは、お誕生日とかお祝いとかのギフト、バルーンギフトと今からのシーズン卒業式・卒園式にバルーンリリースということでバルーンを飛ばしたり、あと企業様と装飾、20周年イベントとかの装飾などをいろいろさせていただきました。

MC：そうなんですね。今回は大村市産業支援センターの提供でお届けしているんですが、この大村市産業支援センターに行かれたきっかけはどんなことがあったんですか？

濱里：この2年間ずっと続けてきて、お客様とInstagramでのDMのやり取りが多かったんですけども、バルーンを実際見たことある方が少なく、直接見てみたいとか、イメージがつかないっていう方が多くて、やっぱり直接手に取っていただけるような店舗を出そうかなと思い、大村市の創業塾に参加しました。その時にちょうど最後のセミナーで、産業支援センターの宮本さんが来られて、同じ塾生の方からも相談したらいいよっていう風に勧めてもらったので、店舗を出そうって思ったきっかけでセンターに行ってみました。

MC：そうだったんですね。その時は、宮本センター長はどんな印象でしたか？

宮本：そうですね、すごく明るくて元気な方だなっていうのが印象でした。創業塾でお話しさせていただいた時に“行きます”とのことで、ウェルカムでお待ちしていました。

MC：そうなんですね。濱里様は行ってきてどんな印象でしたか？

濱里：何か分からないことが多かったので、何でも聞いて聞きやすく、それについてすごくはっきりと教えていただけるので、また行きたいなっていう風に思いました。

MC：また行きたいってなってなったんですね。宮本センター長から濱里様へのご質問はないですか？

宮本：先ほどお話になられた時に、はっきりというのが気になりました。はっきりとお話したのは私でしょうか？。

濱里：はい、ハッキリとってというか、明確にっていう感じですかね(笑)本当に手探りで今までずっと2年間やってきて、ただ注文いただいて、持って行ってというその繰り返しで、お客様に喜んでいただいて嬉しい♪っていうのですとやってきたんですけど、やっぱり事業としては考えていたつもりが考えていなかったみたいで、その辺を明確にはっきりと言っていたいただきました。

MC：言っていて分かること、見えてくること、ってありますよね。

濱里：私にとってはすごく良くて、自分ではちゃんとしているつもりだったけど、ちゃんとしてなかったんだ、と気づかされました。だからそれがすごくありがたかったです。私にとってはとてもありがたくて、なんかどうしようかなって思った時もあったんですけど、いや、もうこれは宮本さんについていくと思ってやってきました。

MC：もうついていくという思いで、宮本センター長に相談されたということですよ、センター長。

宮本：ありがたいです。“過去どれぐらいの収支だったのか計算してみますか”とお話したときに、素直に受け止めてやってきてくださいました。これをしてほしいなって言うこと、必ずその次にはやってきてくださる、このやり取りがありました。家族で焼肉食べて盛り上がるのはいいけど、ちゃんと事業として、利益が出たらいいよね、そのような話をお互いにしました。まずは現状をしっかりと受けとめ、現状分析をやった上で、今後どうなっていきたいかというところをお話できたのがすごく良かったです。途中、現実を直視し、めげるかなってちょっと心配もしたけど、めげることなく、“事業としてやっていきます！”の宣言をされました。毎回、次に来られるときはパワーアップして戻ってこられるので、濱里さんは本当にすごいなって思いつつ、彼女ならできる、やれるな！というのが、会話の中から確信になりました。

濱里：そうですね。